5月
2025年度
西神吉小だより
加古川市立西神吉小学校
学校通信
No.21

～ アメリカインディアンの教えから ～

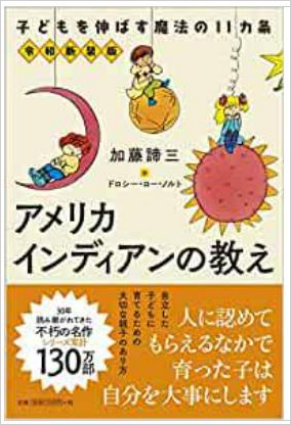
「子育て四原則（四訓）」とは、子どもの発達段階に合わせて、親が子どもとの距離をどのように保つべきかを示した教えです。アメリカンインディアンの教えとも、山口県の元教員である緒方甫さんが広めた教えとも言われています。

子育て4原則

乳児はしっかり、肌を離すな
幼児は肌を離せ、手を離すな
少年は手を離せ、目を離すな
青年は目を離せ、心を離すな

他にもアメリカインディアンの教えには、次のようなものがあります。

批判ばかり受けて育った子は　非難ばかりします
敵意に満ちたなかで育った子は　誰とでも戦います
ひやかしを受けて育った子は　はにかみ屋になります
ねたみを受けて育った子は
いつも悪いことをしているような気持ちになります
心が寛大な人のなかで育った子は　がまん強くなります
子どもたちは　こうして生き方を学びます
励ましを受けて育った子は　自信を持ちます
ほめられるなかで育った子は　いつも感謝することを知ります
公明正大ななかで育った子は　正義心を持ちます
思いやりのあるなかで育った子は　信仰心を持ちます
人に認めてもらえるなかで育った子は　自分を大事にします
仲間の愛のなかで育った子は　世界に愛をみつけます



この詩は家庭教育学者のドロシー・ロー・ノルトが「アメリカインディアンの教え」として 1954 年に発表したものです。日本では 1990 年に紹介され、ラジオや書籍、そして現在は SNS などに掲載されており、子育てに悩む母親たちを中心に注目を浴びているそうです。

子どもは私たち大人をモデルにして育ちます。そして、子どもの世界の中心は言うまでもなく学校であり、家庭であり、地域です。子どもの健やかな成長のためには、大人である私たちがどんな人間であるかが大切だと思います。学校だよりNo.11「令和７年度西神吉小学校の教育」でもお願いをしました。「励まし」「ほめ」「公明正大」「思いやり」「認め」「仲間の愛」にあふれる学校、家庭、地域を目指して、がんばりたいと思います。

西神吉っ子の一コマ

【５年：習字の時間】

【３年：綿の種植え】

【６年：ｽﾎﾟｰﾂﾃｽﾄ（上体起こし）】